

JR採用の乗務員のみなさんへ

労働条件について考えていますか？

28年3月のダイヤ改正で、乗務員の勤務制度の見直しが行われました。それから1か月が経ちますが、実際に乗務してみても前と比べてどのように感じますか？

乗務員の勤務制度はJR九州になってから数回見直しがされてきましたが、労働条件はどんどん切り下げられているのが現状です。特に新賃金制度の導入時には乗務員手当が大幅に削減されました。

そして今回の見直しでは、若干の手当の増はありましたが、新賃金導入前には遠く及びません。

私達の労働条件等については、過去に労働組合の闘いによって勝ち取った権利が多くあり現状は、その権利が一つ一つまた、一つと剥ぎ取られていっているのでは危機感さえ感じています。

JR九州ではJRになってからの採用者が増えてきていますが、国鉄時代からいる社員に比べると、労働条件や賃金について発言や意見を上げる声が小さいのではないのでしょうか？

定年まで健康で働けますか？

今回の勤務制度見直しによって、超勤前提の行路になり、若い乗務員からは「残業代がつくのなら多少きつくなってもいい」等の声も聞こえてきます。反対に年配者からは「疲れが取れない」「休日数は増えたのに、逆に人は減った」等の声があります。少しの残業代で自分の体を酷使して乗務することとは若いうちは可能でも、定年・嘱託社員としても健康に働き続けられますか？一度引き下げられた労働条件は、再び良くなることは難しいです。しかし安心して定年まで働くためには、私たち労働者が団結して会社に対し自ら声を上げなければ会社は何もしてくれません。

労働条件改善には闘う労働組合「国労」への加入を！

まだ50歳になった時の働き方は想像できないけど...



これから何十年も今のままでは絶対身体がもたない



若い力

第 46 号

2016年 4月15日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515